

平成 27 年 度 事 業 報 告 書

(期間：2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

平成 27 年度は①啓発事業、②自立支援事業、③緊急支援事業において、活動の幅を広げることができた。主な事業内容は以下のとおり。また、法人として二期目の活動を終え、認定申請に向けて準備を開始することができた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、メールマガジンによる啓発活動

・内 容

2014 年度に開設した日本語ウェブサイト を 2015 年 8 月にリニューアル、2015 年 8 月に英語ウェブサイト を新規開設した。両ウェブサイト および、SNS (Facebook ページ、Twitter) 上で、ダイヤモンドを取り巻く課題に関する情報や独自記事 (7 記事)、海外メディアの翻訳記事 (17 記事) を掲載・配信した。

・従事者人員 14 人

・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Twitter アカウントにアクセスする者及びメールマガジン受信者 のべ 79,273 人

・支出額 0 円

オンライン媒体	投稿数/配信数	リーチ数(訪問者数)	ウェブサイト 閲覧ページ(PV)数
日本語ウェブサイト	24	4,703	8,928
英語ウェブサイト	15	17,708	21,559
Facebookページ	77	40,607	
Twitter	237	14,978	
メールマガジン	14	1,277	
合計	367	79,273	30,487

イ 講演・講義活動

・内 容 企業、学校等でのダイヤモンドに関する課題についての講演・講義の実施

・日 時 2015 年 4 月～2016 年 1 月

・場 所 各講演先

・従事者人員 2 人

・受益対象者 280 人

・支出額 0 円

#	年月	演題	主催	講義講演者	受講者数
1	2015年4月	まちなかキャンパス「途上国！行って見たらこんなトコ！」	前橋商工会議所	相田華絵 (理事)	50人
2	2015年6月	アフリカトーク「リベリアの社会文化慣習とダイヤモンド・フォー・ピース活動紹介」	国際協力NGOアラジ	村上千恵 (代表理事)	30人
3	2016年1月	総合社会「アフリカのダイヤモンド鉱山で起こっていること」	東京工科大学	村上千恵 (代表理事)	200人
				合計	280人



2016年1月 東京工科大学での講演

ウ イベント、勉強会の開催

・内 容

当法人の活動紹介・報告、ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発、情報発信。
アフリカで活動する団体による経験や知見の共有。

- ・日 時 2015年7月～2016年1月
- ・場 所 会議室提供企業、各イベント実施先
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 194人
- ・支出額 163,112円

◆ 勉強会「世界とつながろう！DFP TALK」

#	開催日	内容	講師	参加者数
1	2015/7/29	アンゴラ 一人のジャーナリストの戦い (アンゴラ大統領宛署名活動)	村上千恵 (代表理事)	7人
2	2015/11/4	ファンドレイジングとは？ (初心者編)	NGO アラジ 代表 下里夢美	5人
3	2016/1/13	Be Serious, Go Bananas! ～バナナペーパーのチャレンジと可能性～	株式会社ワンプラネット・ カフェ	8人

			代表取締役エクベリ聡子	
			小計	24人

◆ 当法人主催イベント、ブース出展

#	開催日	イベント名	イベント/出展主旨	主催	参加者数
1	2015/8/22	No Drum, No Life! NPO 法人設立記念チャリティ イベント	活動紹介、ダイヤモンドの課 題に関するプレゼンテーショ ン、今後の活動計画の共有	当法人	50人
2	2015/10/17	THE 原点回帰	ダイヤモンドの課題に関する プレゼンテーション	当法人、 NGO SU*TE*KI	40人
3	2015/10/13	私は自分の仕事が好き 大賞@パシフィコ横浜	(ブース出展) 零細採掘労働 者の写真展示、団体紹介	私は自分の仕事 が好き大賞実 行委員会	50人
4	2015/12/10	アフリカンナイト	ダイヤモンドの課題に関する プレゼンテーション	当法人、 NGO アラジ	30人
*ブース出展に記載の参加者数は、ブースに立ち寄った概算人数です。				小計	170人



2015年8月啓発イベントの様子



2016年1月の勉強会の様子

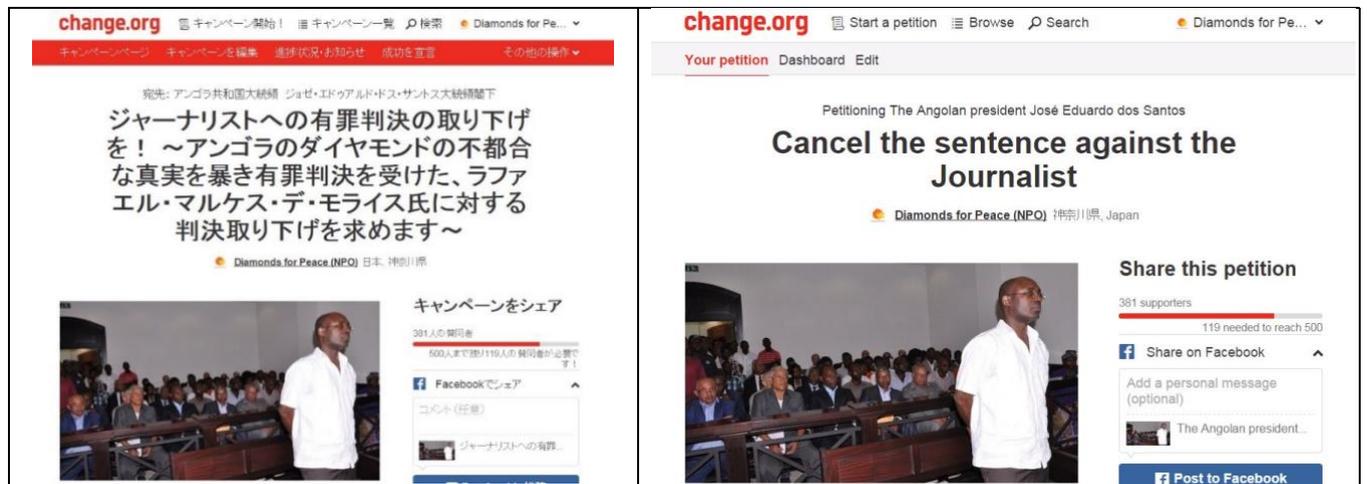
エ キャンペーン活動

・内 容

アンゴラのダイヤモンド採掘地域で行われた拷問 500 件、殺人 100 件の証拠を集め、書籍『ブラッド・ダイヤモンド』で告発し、アンゴラ裁判所から有罪判決を受けたジャーナリストの判決取り消しを求める署名活動、「ジャーナリストへの有罪判決の取り消しを！～アンゴラのダイヤモンドの不都合な真実を暴き有罪判決を受けた、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏に対する判決取り下げを求めます～」を実施（日本語及び英語）。2016年2月28日までに、25カ国から436筆の署名があり、2016年3月1日に在アンゴラ大使館に提出。また、2015年6月には本件に対する当法人の声明を発表した。

- ・日 時 2015年8月～2016年3月（継続中）
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 436名
- ・支出額 510円

□ キャンペーンページ



オ メディア掲載

- ・内 容
ウェブマガジンへの寄稿や新聞、ウェブ等での当法人の活動紹介、及びダイヤモンドを取り巻く課題について掲載による啓発、情報発信。
- ・日 時 2015年5月～2015年9月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 104,000人
- ・支出額 0円

◆ 掲載記事及び寄稿記事

#	掲載日	記事タイトル	媒体名	推定読者数
1	2015/5/1	街なか講座 10年目 人呼び込み手応え (相田理事講演の様子を紹介)	朝日新聞（群馬版）	10万人
2	2015/6/18	ダイヤモンドの現実を書いて逮捕されたアンゴラのジャーナリスト	Fragments	500人
3	2015/6/18	ダイヤモンドの美しくない現実を書いたジャーナリストに判決。欧米では起訴取り下げの署名運動も	Fashion Snap	1,000人
4	2015/9/2	インドのダイヤモンド産業における児童労働、 憲法で廃止後も継続	Fragments	500人
5	2015/9/2	ダイヤモンド産業で児童労働が好まれる理由	Fashion Snap	1,000人
6	2015/9/15	ブラッド・ダイヤモンド著者有罪 抗議の署名活動	山梨研磨宝飾新聞	500人

		アンゴラ大統領に		
7	2015/4/17	寄稿連載第4回「ダイヤモンドの輝きのために、私たちにできること」(代表理事村上が執筆)	Fragments	500人
			合計	104,000人

□ 掲載記事例

2015年9月山梨研磨宝飾新聞

ダイヤモンドの現実を書いて逮捕されたアンゴラのジャーナリスト

Published on: 2015. 6. 18

美しいダイヤモンドには、「美しくない」問題がたくさん秘れている。採取される帯状採掘労働者、環境破壊に児童労働、そして紛争の資金源になること...自国が誇るべき資源が、「美しくない」問題を争っていることを取材したジャーナリストが、自国の政府高官たちによって起訴され、翌年2年(執行猶予6カ月)の判決を受けた。



アンゴラジャーナリスト・人権擁護活動家のラファエル・マルクス・デ・モライス氏 (Photography: Alex Bremner for Index on Censorship. 許諾を得て掲載)

アンゴラのジャーナリスト、ラファエル・マルクス・デ・モライス氏が出版したのは、「ブラッド・ダイヤモンド〜アンゴラの採掘と権威」(日本語版未出版)。この書籍は、2009年から2011年にかけてモライス氏が行った聞き取りを主とする現地調査に基づくもの。ダイヤモンド採掘地における500件の拷問と100件以上の殺人事件を公表したほか、それらは買収した政府高官たちによる組織的に行われていると述べた。

2015年6月 Fragments

カ 「ダイヤモンドの課題に関する意識調査」の準備

・内 容

一般消費者、ダイヤモンド製品のブランドを対象に、日本初となるダイヤモンドの課題に関する意識調査の実施を翌年度に予定している。今年度は、意識調査の対象となるダイヤモンド製品を扱う、ブランド及び販売企業の選定およびアンケート内容案の作成を行った。なお、本調査の結果は「ダイヤモンド白書」としてとりまとめ、大々的に発表及び広報する。ダイヤモンド白書は日本語版及び英語版を発表する予定。

- ・日 時 2016年3月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 0人(今年度は準備のみを行ったため)
- ・支出額 0円

② 自立支援事業

ア ダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト実施のための準備

・内 容

ダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト設計のための文献調査および、リベリア国でのダイヤモンド零細採掘労働者の実態に関する情報収集、政府機関との関係構築、リベリア現地 NGO 法人設立に向けた準備を行った。

- ・日 時 2015年4月～2016年3月

- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 自立支援プロジェクト受益対象の採掘労働者 約100人
- ・支出額 191,279円

特筆すべき活動

◆関係機関との関係構築・維持

リベリア国において、現地コーディネーターが定期的に以下の機関を訪問し、最新情報を入手すると共に、当団体の意向や計画を共有した。

- MLME (Ministry of Land, Mines and Energy: 土地・鉱物・エネルギー省)
- CDA (Cooperative Development Agency: 農業省傘下 労働組合開発庁)
- LEITI (Liberia Extractive Industry Transparency Initiative: リベリア採掘産業透明性イニシアティブ)



現地コーディネーターとMLME 副大臣の面談の様子

◆ 鉱物資源採掘労働者ワークショップへの参加

LEITI が地方都市 2 箇所で開催した、鉱物資源採掘労働者の組合化への第一歩となるワークショップに、現地コーディネーターがオブザーバーとして参加。ワークショップでは、MLME 副大臣が組合化の意向をスピーチし、CDA 職員が労働組合のコンセプトを発表し、参加した鉱物資源採掘労働者代表達による意見交換が行われた。



ワークショップでの意見交換の様子

◆ダイヤモンド零細採掘労働者の実態に関する情報収集

現地コーディネーターが、ダイヤモンド採掘現場を訪問し、採掘労働者やその雇用者にインタビュー等を行い、労働の実態について情報を収集した。



③ 緊急支援事業

ア 対リベリア国エボラウイルス病緊急支援事業

・内 容

エボラウイルス病予防のため、貧困地域の子どもたちが通う首都モンロビア周辺の9つの学校へ、衛生用品(体温計、手洗い用石けん)を配布し、手洗い方法も確認、モニタリング・フォローアップを行った。

・日 時 2015年5月～7月(衛生用品配布)、2016年2月～3月(モニタリング・フォローアップ)

・場 所 リベリア共和国

・従事者人員 6人

- ・ 受益対象者 1,592 名
- ・ 支出額 257,806 円



配布された体温計で生徒たちの計測を行っている様子



支援先の学校で手洗いを行う生徒

以上